

志免町 道路転落等危険箇所対策計画

志免町の道路沿いには、たくさんの水路や側溝が設けられており、わたしたちの生活に豊かさや利便をもたらしています。いっぽう、水路に柵やフタのないところでは転落の危険性があります。また、豪雨時に水路からあふれた水で道路が冠水し水路との境が分からなくなることもあります。

志免町は、道路から水路や側溝への転落防止対策工事を進めるため、「道路転落等危険箇所対策計画」を策定しました。

危険箇所の調査（平成26年10月～平成27年2月）

町内に転落等のおそれがある危険箇所がどのくらい存在するのかを確認するため、道路および隣接する水路、側溝等の一斉調査を行いました。

調査の着眼点

道路および交差点

- ・ 交差点内の水路、側溝付近の危険な箇所
- ・ 進行方向の水路に柵がない箇所
- ・ 水路や側溝に柵やフタがない箇所

隣接地との関係

- ・ 宅地や農地出入り部の橋に柵がない箇所
- ・ 隣接地との高低差が大きく柵などが無い箇所

延長約170kmにおよぶ調査の結果、「転落等危険箇所」があることがわかりました。



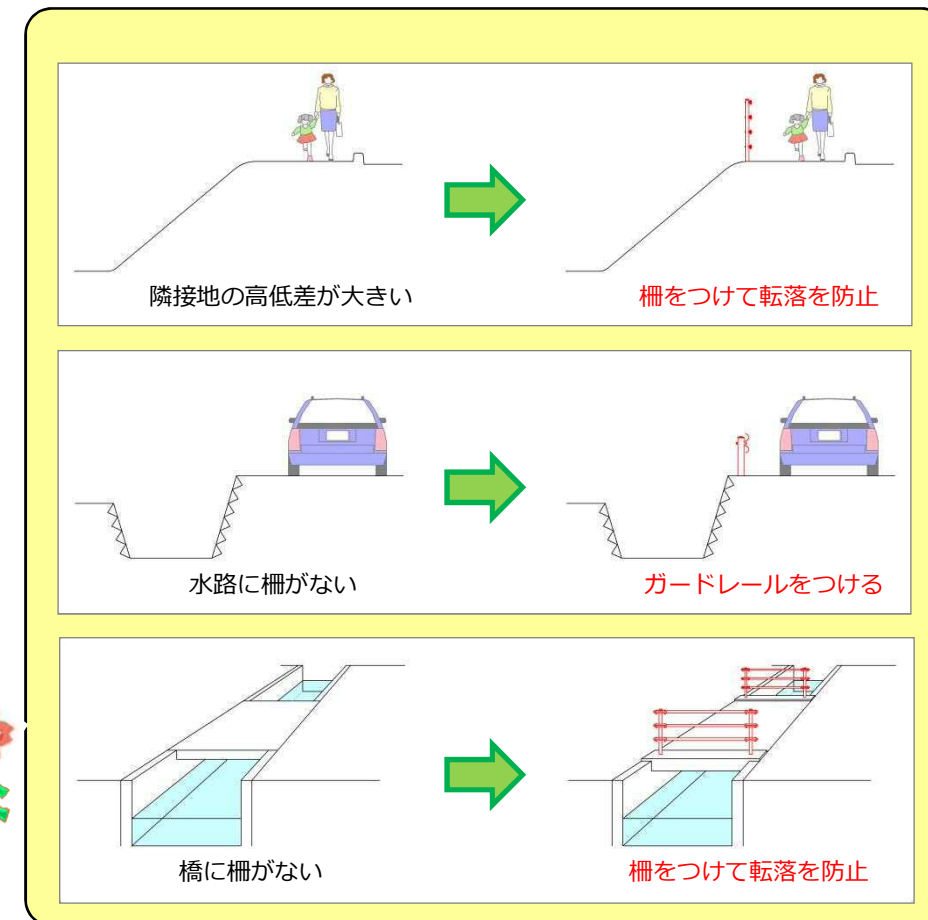
水路にフタがない



道路端部に柵がない

対策の検討

危険箇所の対策をできるだけ早く、効果的に進めるため、状況に応じた「対策工事」の方法や費用などについて検討を行いました。



危険箇所の評価

調査で判明した危険な箇所について、対策の必要性、緊急性等を判断するために、道路や施設の利用状況、浸水等の可能性などをポイントとして評価（対策優先度の設定）を行いました。

評価のポイント

施設の利用状況

- ・ 小・中学校の通学路になっているか
- ・ 車や人の通行量の多さ
- ・ よく利用する公共施設からの距離

浸水等の可能性

- ・ 浸水が想定される区域かどうか
- ・ 過去に冠水が起こっていないか



転落等危険箇所の対策優先度を設定

安全・安心なまちづくり

「道路転落等危険箇所対策計画」の進め方

道路を利用するみなさんの安全・安心を守るために事業を進めてまいります。

転落等危険箇所ごとに設定した優先度にもとづき順次対策工事を実施します

他の事業と連携し、可能なかぎり迅速に対策工事を進めます

通学路の変更、周辺環境や気候の変化にあわせ、適宜本計画を見直します